



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴生田 敦夫
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)祖父江 高明 (TEL)03(5462)7803
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|--------|-------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 66,100 | △29.0 | △4,039 | — | △4,285 | — | △4,368 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 93,075 | △3.0 | 3,369 | 141.3 | 1,948 | 14.6 | 1,550 | △2.0 |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △5,051百万円(—%) 29年3月期第1四半期 315百万円(△80.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | △56.69 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 20.12 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 240,391 | 57,144 | 23.7 |
| 29年3月期 | 288,418 | 62,816 | 21.7 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 56,969百万円 29年3月期 62,636百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 8.00 | 8.00 |
| 30年3月期 | — | | | | |
| 30年3月期(予想) | | 0.00 | — | 6.00 | 6.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|------|-------|-------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 178,900 | △6.9 | △800 | — | △2,100 | — | △2,100 | — | △27.25 |
| 通期 | 436,200 | 4.0 | 7,100 | △62.5 | 4,800 | △73.5 | 4,600 | △70.3 | 59.69 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

第2四半期連結累計期間の業績予想は、前回発表(平成29年5月9日)を見直しています。通期の業績予想については、前回発表を据え置いています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期1Q | 78,183,677株 | 29年3月期 | 78,183,677株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 1,121,132株 | 29年3月期 | 1,121,132株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期1Q | 77,062,545株 | 29年3月期1Q | 77,062,545株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における原油価格（ドバイ原油）は、期初1バレルあたり51ドル台で始まり、6月末に期限を迎えるOPEC加盟・非加盟国による減産合意の延長および減産幅の拡大への期待から、一時54ドル台まで上昇しましたが、米国でのシェールオイル生産増加に加え、リビア・ナイジェリアでの生産の回復が価格下落要因となり、期末には46ドル台となりました。この結果、期中平均は約50ドルとなりました。

一方、期初1ドル111円台前半で始まった為替相場は、シリア・北朝鮮の地政学リスクや米大統領のロシアとの不透明な関係を巡る疑惑が波及し、円高が進む場面があったものの、米国および欧州の金融緩和縮小に向けた動きなどもあり、期末には112円台前半となりました。この結果、期中平均は約111円となりました。

このような事業環境のもと、当社は5月から6月にかけて4年に一度実施する大規模定期修理を行いました。袖ヶ浦製油所での原油処理量は、前年同期比922千キロリットル減の1,076千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、866千キロリットル減の1,184千キロリットルとなりました。

なお、石油製品の需要構造変化ならびにエネルギー供給構造高度化法二次告示への対応の一部として予定していた第2流動接触分解装置の日量21千バレルから同24千バレルへの増強は、平成29年6月末付けにて完了しました。また、アスファルトピッチ焚きボイラー・タービン発電設備（ASP-BTG）は、平成29年8月に運転を開始する予定です。

こうした状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。売上高は、大規模定期修理に伴う販売数量の減少等により、前年同期比269億74百万円減収の661億円となりました。損益につきましては、大規模定期修理による要因に加え、在庫影響（総平均法および簿価切下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が21億円の原価押し上げ要因（前年同期は14億円の原価押し下げ要因）となり、営業損失は40億39百万円（前年同期比74億8百万円減益）となりました。経常損失は、42億85百万円（前年同期比62億33百万円減益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、43億68百万円（前年同期比59億18百万円減益）となりました。

なお、当期の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、大規模定期修理の影響等により、営業損失相当額は18億円（前年同期比37億円減益）、経常損失相当額は20億円（前年同期比26億円減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ498億46百万円減少の1,000億33百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の減少113億83百万円、受取手形及び売掛金の減少355億22百万円です。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ18億18百万円増加の1,403億57百万円となりました。主な要因は、建設仮勘定の増加24億68百万円、機械装置及び運搬具の減少4億60百万円です。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ434億87百万円減少の1,120億96百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少260億7百万円、買掛金の減少85億79百万円、未払金の減少40億46百万円、一年内返済予定の長期借入金の減少34億77百万円です。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ11億31百万円増加の711億50百万円となりました。主な要因は、修繕引当金の増加8億48百万円です。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ56億72百万円減少の571億44百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少50億48百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想（平成29年5月9日発表）以降の原油価格及び為替レート変動等を勘案し、第2四半期連結累計期間の見通しを修正します。

今回の修正見通しでは、第2四半期連結累計期間平均で、ドバイ原油価格50ドル/バレル（前回予想通期55ドル/バレル）、為替レート110円/ドル（前回予想通期110円/ドル）をそれぞれ前提といたしました。

売上高につきましては、原油価格の想定を引き下げたことにより、前回予想比82億円減収の1,789億円となる見通しです。

業績につきましては、原油価格の想定を引き下げたことによる在庫影響の発生等により、第2四半期連結累計期間の営業損失8億円（前回予想比19億円減益）、同経常損失21億円（同19億円減益）、同親会社株主に帰属する四半期純損失21億円（同19億円減益）となる見通しです。

なお、通期の業績につきましては前回予想を修正しておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,592 | 11,779 |
| 受取手形及び売掛金 | 51,261 | 15,739 |
| 有価証券 | 100 | 100 |
| たな卸資産 | 74,931 | 63,548 |
| 未収入金 | 6,796 | 4,965 |
| 繰延税金資産 | 242 | 307 |
| その他 | 2,954 | 3,592 |
| 流動資産合計 | 149,879 | 100,033 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 10,175 | 10,007 |
| 油槽（純額） | 3,958 | 4,157 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 18,216 | 17,756 |
| 土地 | 51,660 | 51,660 |
| 建設仮勘定 | 18,793 | 21,261 |
| その他（純額） | 242 | 240 |
| 有形固定資産合計 | 103,047 | 105,084 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 462 | 444 |
| その他 | 136 | 136 |
| 無形固定資産合計 | 599 | 580 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 17,130 | 16,949 |
| 長期貸付金 | 874 | 868 |
| 長期未収入金 | 16,828 | 16,800 |
| その他 | 519 | 534 |
| 貸倒引当金 | △460 | △459 |
| 投資その他の資産合計 | 34,892 | 34,692 |
| 固定資産合計 | 138,538 | 140,357 |
| 資産合計 | 288,418 | 240,391 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 30,594 | 22,014 |
| 短期借入金 | 61,447 | 35,439 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 15,848 | 12,370 |
| 未払金 | 21,778 | 17,731 |
| 未払揮発油税 | 18,647 | 17,516 |
| 未払法人税等 | 2,665 | 22 |
| その他 | 4,602 | 7,000 |
| 流動負債合計 | 155,583 | 112,096 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 49,778 | 48,063 |
| 繰延税金負債 | 9,259 | 9,373 |
| 特別修繕引当金 | 1,963 | 1,927 |
| 修繕引当金 | 5,812 | 6,661 |
| 退職給付に係る負債 | 2,924 | 2,849 |
| 役員退職慰労引当金 | 19 | 19 |
| その他 | 260 | 2,254 |
| 固定負債合計 | 70,018 | 71,150 |
| 負債合計 | 225,601 | 183,246 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 24,467 | 24,467 |
| 資本剰余金 | 30,396 | 30,469 |
| 利益剰余金 | 10,339 | 5,290 |
| 自己株式 | △1,431 | △1,431 |
| 株主資本合計 | 63,771 | 58,796 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 111 | 55 |
| 土地再評価差額金 | 1 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | △1,067 | △1,713 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △181 | △170 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,135 | △1,826 |
| 非支配株主持分 | 180 | 175 |
| 純資産合計 | 62,816 | 57,144 |
| 負債純資産合計 | 288,418 | 240,391 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 93,075 | 66,100 |
| 売上原価 | 88,747 | 69,275 |
| 売上総利益又は売上総損失(△) | 4,327 | △3,174 |
| 販売費及び一般管理費 | 958 | 865 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 3,369 | △4,039 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 11 |
| 受取配当金 | 18 | 32 |
| 為替差益 | - | 68 |
| 持分法による投資利益 | 845 | 414 |
| タンク賃貸料 | 48 | 53 |
| その他 | 10 | 23 |
| 営業外収益合計 | 932 | 604 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 497 | 540 |
| 為替差損 | 1,594 | - |
| タンク賃借料 | 60 | 55 |
| その他 | 201 | 253 |
| 営業外費用合計 | 2,353 | 850 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 1,948 | △4,285 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 21 | 22 |
| 特別損失合計 | 21 | 22 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 1,926 | △4,308 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 361 | 1 |
| 法人税等調整額 | 10 | 51 |
| 法人税等合計 | 371 | 52 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,554 | △4,360 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 4 | 8 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 1,550 | △4,368 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,554 | △4,360 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △149 | △55 |
| 土地再評価差額金 | 0 | - |
| 為替換算調整勘定 | △180 | △109 |
| 退職給付に係る調整額 | 8 | 10 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △919 | △536 |
| その他の包括利益合計 | △1,239 | △691 |
| 四半期包括利益 | 315 | △5,051 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 310 | △5,059 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 4 | 8 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。